

地方公共団体の先進的な普及推進事例

企業の優良な緑の取組みを推進していく上では、行政としても、**企業へのより魅力的なインセンティブの付与、企業とのコミュニケーションの充実、企業が保全・創出する緑の担保性の向上**等を図っていくことも重要です。

ここでは、上記の ~ に関わる地方公共団体の先進的な取組みの一部を紹介します。

該当番号	地方公共団体	概要	特徴
	独自の評価認定制度等を活用した企業等の緑化の推進 【愛知県名古屋市】	市独自で緑化施設評価認定制度「 NICE GREENなごや 」を創設。希望する者の任意の申請に基づき建築敷地内等で整備される緑化施設の内容を市が一定の基準により評価しランクを認定。認定ランクに応じて、認定証や認定ラベルが発行されるとともに、市や地元金融機関からの融資や補助等の優遇措置も受けられる また、市独自で自己宣言型緑化プログラム「 TEAM GREENなごや 」も創設。緑のまちづくりへの取組みを自己宣言し実践してもらうもので、企業、グループ、個人等誰でも参加することが可能。メンバーになると、市から認定証とチームパスが発行され、希望により市のホームページで企業名等が紹介。併せて地元金融機関から各種の優遇措置も受けられる。なお、本プログラムは、「NICE GREEN なごや」の評価項目のひとつにもなっている	建築物の新築や増築を行う場合に敷地面積の一定割合以上の緑化を義務づける緑化地域制度等の導入を機に、民間の自主的かつ優良な緑化の取組みを誘導する新たな制度や優遇措置として導入 自主的により良い取組みを行えば、優遇措置も手厚くなる仕組みを導入。併せて、認定証や認定ラベル、チームラベルの発行、市のホームページでの紹介など、自らの自主的な取組みを対外的にアピールできる仕組みも導入 「NICE GREENなごや」では、シンプルな評価項目・基準により、緑の量のみならず、緑の質や公開度、継続性等も評価できるように工夫 「TEAM GREEN なごや」では、宣言が単なる宣言で終わらないよう、「緑を取り入れます」、「緑を育てます」、「緑を守ります」、「緑を伝えます」の4つの基本理念、と実践する行動のタイプ(3種類)を分かり易く示すとともに、タイプ別のオリジナル行動の例も提示

企業の緑の取組み ポータルサイト

<p>企業とのコミュニケーション等に資する協議会組織の設置・運営</p> <p>【神奈川県川崎市】</p>	<p>市街地の中に事業所の敷地の占める割合が大きい川崎市にとって、事業所の緑は地域緑化の推進上、非常に重要。このため、昭和 47 年以降、1 ha 以上の敷地を有する事業所と、敷地面積の 10% 以上を緑化していくことを目標に協定の締結を進めるとともに、協定締結事業所を対象として 川崎市みどりの事業所推進協議会 を設置・運営してきている（平成 21 年度末現在、協定締結事業所：70、緑化面積：約 154ha）[参考情報：「平成 22 年度建設緑政局事業概要 - 緑編」川崎市, pdf, 3,665KB の p.34]</p> <p>本協議会では、会員の協働による各種取組みを展開。また、市からは会員に対し緑化推進のための様々な支援を実施</p>	<p>工場だけでなくそれ以外の事業所も協定締結の対象</p> <p>協議会は、協定締結事業所を対象として市が設置・運営</p> <p>協議会では、機関誌発行や講演会開催等を通じ、会員間の緑化に関する情報交換・交流や緑化技術の向上等を促進</p> <p>市では、上記に関わる支援を行っているほか、会員の緑化地のうち不特定多数の人々の目にふれ地域の景観形成に寄与するものを「公共の緑」として認定し、緑化地の新設、維持管理、樹木の保存の費用の一部を助成したり、川崎市環境功労者表彰において緑化優秀事業所を表彰したりする等、会員の緑化に対する取組意欲を向上させるための支援等を実施</p> <p>一方、協議会は、市制 100 周年までに 100 万本の植樹を目指す「市民による 100 万本植樹運動」や「緑のカーテン大作戦」等について協賛・協力するなど、市の緑化に関わる普及啓発活動の充実・拡大に協力</p>
<p>「緑の基本計画」等に事業者に期待する役割・取組みを分かり易く位置づけ</p> <p>【神奈川県川崎市】</p> <p>参考 HP</p>	<p>「川崎市緑の基本計画」の基本方針のひとつ「協働により緑を持続可能な仕組みの構築」において事業者を協働の主体として明確に位置づけ</p> <p>加えて、基本方針のひとつ「緑と水のネットワークによる身近な緑とふれあう機会の創出」を実現するために、臨海部を「緑と港が調和した臨海部エリア」に位置づけ、そのリーディングプロジェクトとして「かわさき臨海の森づくり」を掲げるとともに、その中で事業者と連携して行う具体的な取組みとその進め方等を明記する等、本基本計画等において事業者に期待する役割や取組みを具体的に明記</p>	<p>「川崎市緑の基本計画」及び「川崎市緑の実施計画」において、事業者を地域緑化促進のための重要な協働主体として位置づけるのみならず、具体的なリーディングプロジェクト等において、当該プロジェクトの進め方、事業者に期待する役割や取組み等を具体的に明記しており、事業者としては、市全体の緑の計画の中での位置付けや具体的にどういった役割、取組みが期待されているのか、今後どのようなことをどのような形で実施すればよいのか等が把握可能となっていて、市全体の緑の取組みに協力しやすくなっている</p>

企業の緑の取組み ポータルサイト

	<p>具体的なプロジェクト「京浜の森づくり事業」を通じた企業との協働</p> <p>【神奈川県横浜市】</p>	<p>「京浜の森づくり」は、京浜地区の企業の緑地や市民に公開されている施設を地域の重要な財産ととらえ、公共の緑や水辺などとあわせて、企業、市民等と行政が協働して緑の拡充・活用を推進し未来に引き継いでいくための事業</p> <p>市では、「京浜の森づくり」の指針を示すとともに、地区毎に事業者と協働で、ともに進める緑のまちづくりの将来像を「地区緑化計画」として策定</p> <p>当該計画に沿った協働による緑化を推進するため、市では、事業者の取組みを支援するとともに、公共の緑の拡充にも努力</p>	<p>ともに進める緑のまちづくりの将来像「地区緑化計画」は、市と事業者との協働により策定。当該計画には企業緑地等のみならず公共の緑も位置付けて、緑のネットワークを形成</p> <p>市では、事業者が「京浜の森づくり」の指針に沿って行う協働緑化事業に対し、助成金の交付、技術的な助言、広報等の支援を実施し、緑の量や質を確保</p> <p>「京浜の森づくり」に賛同する事業者の緑化活動等のPRを支援するため、事業所のホームページやCSR報告書等で活用可能なオリジナルロゴマークを提供</p> <p>地区内では、地域の小学生や市民等もドングリから苗を育てて企業緑地等に植樹したり、企業緑地等のエコアップのためにトンボの飛来調査を行ったりする等、市と企業に市民を加えた幅広い取組みが「京浜の森づくり」として展開</p> <p>市民目線で魅力ある企業緑地を広く紹介するため、市が養成したボランティアガイドが、「京浜の森の魅どころ18選」を選定し、位置や施設概要等を公表</p>
--	---	--	---

出典：名古屋市ウェブサイト、川崎市ウェブサイト、横浜市ウェブサイト